

連携医療機関のご紹介

田中皮膚科医院 院長 田中 正明先生

2006年の開院から今年で20年になります。当時と比べて皮膚科治療もかなり変化してきました。難治性皮膚疾患の代表である乾癬に対しては、生物学的注射製剤や有効性の高い内服薬が開発され、同様な薬剤がアトピー性皮膚炎でも使えるようになりました。さらにステロイド外用剤ほど強い効果はないですが、長期間使用しても比較的安全な非ステロイド外用剤がいくつか発売され、治療の選択肢が広がっています。同様の内服薬が最近円形脱毛症にも適応が拡大し、今後尋常性白斑にも使えるようになりそうです。今まで有効な処方薬のなかった多汗症にも、腋窩と手掌のみですが、継続使用によりかなり効果の期待できる外用剤が処方できるようになりました。尋常性ざ瘡の予防効果のある面皰治療薬は刺激感が強い傾向がありましたが、塗布後洗い流すような剤型がでて刺激感を軽減しています。治療継続すれば、ニキビ跡の予防に有効です。

開院以来のスタッフも多く、和やかに仕事出来ています。今年は10月に軽井沢への職員旅行、11月に長生館で慰労会兼歓迎会を催し親睦を深めました。周囲でも諸事情により同世代の医院の閉院が続いていますが、医療制度の改善がなければもうしばらく頑張れそうです。



特別養護老人ホーム シンパシー 施設長 渡邊 寿

当施設の協力医療機関として、あがの市民病院様、ならびに市内医療機関の皆様には日頃より大変お世話になっております

当施設は、広域型及び地域密着型特別養護老人ホーム、併設のショートステイ、デイサービスを含め、利用者様が明るく安心して生活できる場を提供し、思いやご希望に沿えることができるよう日々支援しています。

また、近年は医療依存度の高い方のショートステイ利用、特別養護老人ホーム入所のニーズが増加傾向にあり、可能な限りそのニーズに対応できるような運営を心掛けております。

今後も、地域に根差した地域の為の施設を目指し、あがの市民病院様及び関係医療機関の皆様と連携を図り、地域の社会福祉を一緒に担っていけるよう努めてまいります。



あがの市民病院 スワンだより

地域医療の未来を語り合う2日間

～第4回日本地域医療学会学術集会 開催報告～

事務長 石井 栄二

去る10月11日(土)・12日(日)、新潟市の朱鷺メッセにて、当院病院長の藤森勝也が学会長を務めた「第4回日本地域医療学会学術集会」が開催されました。全国から医師、看護師、医学生など606名が集まり、地域医療のこれからについて熱心な議論と交流が行われました。

今回のテーマは「地域で学び、地域に活かし、みんなで育み紡ぐ、未来希望の地域医療」。地域に暮らす人々の健康を支える医療のあり方について、現場の声を交えて考える貴重な機会となりました。

会場では、多職種が連携して地域を支える取り組みの紹介や、若手医師・医学生によるポスター発表などが行われ、参加者同士の意見交換も活発に行われました。特に、地域で奮闘する若い世代の発表には多くの共感と期待が寄せられました。

参加者からは、「他地域の取り組みが参考になった」「地域医療の可能性を感じた」といった声が聞かれ、今後の活動への意欲につながる学びの場となりました。

本学会は、地域に根ざした医療を支える人々がつながり、学び合い、未来を描く場として、今後もその役割を果たしていくことが期待されています。



会場 朱鷺メッセ



あがの市民病院

〒959-2093

新潟県阿賀野市岡山町13-23 代表 ☎0250(62)2780

Eメールアドレス syomu@aganocity-hp.com

ホームページアドレス <http://www.city.agano.niigata.jp>



あがの市民病院

令和7年10月より常勤となった医師のご紹介



骨関節疾患センター医師（整形外科）

岩片 駿介（いわかた しゅんすけ）

- 1) 経歴 新潟県上越市出身 新潟大学 2022年卒
- 2) マイブーム

タイムマシーン3号のYouTube

- 3) 市民へのメッセージ

阿賀野地域の皆様の健康を整形外科分野からサポートしていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。



最新のMRI装置を導入いたしました！



このたび当院では、最新のMRI装置を導入いたしました。今回導入したMRIは、ディープラーニング技術を活用した画像再構成により、より短時間で高画質な撮影が可能となりました。これにより、診断精度の向上と迅速な治療につながることが期待されます。また、従来機にも搭載されていた静音化技術が大幅に進化し、検査中の騒音がさらに軽減されました。これまで以上に快適で安心できる検査環境を提供できるようになっています。さらに、造影剤を使用せずに血管の走行を抽出できる非造影撮影技術も性能が格段に向上し、より鮮明な画像取得が可能となりました。これにより、患者さんの身体的負担の軽減にもつながっています。この装置更新により、当院では高精度かつ快適なMRI検査を提供できる体制が整いました。私たちは今後も、最新技術の導入を通じて地域の皆さまに安心して質の高い医療を提供し、地域医療の発展に貢献してまいります。



病院長のつぶやき

院長室



このたびの学会を、無事に、滞りなく開催することができ、職員一同、安堵しております。

開会式では、中村洋心 新潟県福祉保健部長、加藤博幸 阿賀野市長、堂前洋一郎 新潟県医師会会長、佐々木亮 新発田北蒲原医師会会長、塚田芳久 JA新潟厚生連代表理事理事長より、ご祝辞を賜りました。

また、ご講演および座長として、菊地利明 新潟大学病院長、山本卓 教授、上村顕也 教授、岡崎史子 教授、井口清太郎 教授、布施克也 先生、吉澤弘久 先生、吉嶺文俊 先生、佐藤賢治 先生、笹島充 先生、関慶一 先生、杉谷想一 先生、矢部正浩 先生、榎本克巳 先生、犬飼賢也 先生、後藤慧 先生、今西明 先生、齋藤悠 先生、木島朋子 先生、前田一樹 先生（順不同）にご尽力いただきました。

多くの県医師会の先生方のご支援を賜り、本学会を盛会裡に終えることができましたこと、心より御礼申し上げます。

第8回 病院祭が開催されました

1階ホールでは、シンポジウムから始まり大変多くの方に来ていただきました。AED講習、ダンスやコンサートで盛り上がり、2階では今年初めて行った口腔機能測定「オーラルフレイル予防」もありたくさんのイベントで病院祭大盛況でした！



シンポジウム

「みんなで紡ぎ育てる地域医療」

